

あなたの思いが

ほうぼくかん

抱樸館を支えます

助けあい、支えあい、共に生きる地域をめざして
あなたも「抱樸館を支える会」の会員になりませんか。

世界的にコロナ禍が広がり、ますます厳しい社会状況の中、衣食住に不自由の無い暮らしがある日突然失われてしまう…。それは今、誰にでも起こり得ることです。経済的に困窮することで、人とのつながりや地域との関係を失い、相談する相手もなく孤立する人が増え続けています。

抱樸館って?

「抱樸館」は生活困窮者が自立にむかうためのステップの場です



生活に困窮し、住まいを失った方たちの家と心のよりどころとなる場所です。また再び地域で生活していけるように支援します。



入居期間中は、一人ひとりに相談員が寄り添い、手作りの食事や、共同生活を送る仲間たちとの触れあいなど、温かい関係性の中で、自立にむかえるよう支援します。



抱樸館を退居したあと、地域で自立して生活が送れるように、アフターサポートチームが必要な相談や支援を行っています。

抱樸館福岡の食事はグリーンコープの取引先から無償提供いただいた食材で支えられています



当初は食材をすべて購入していましたが、2012年より、グリーンコープの取引先から多くの食材を提供いただけるようになり、食材費が半分以上になりました。抱樸館に入居して三度の食事をきちんと摂ることで、多くの方が心身の健康を取り戻しています。

皆さんの支えが
必要です!

一般社団法人
「抱樸館を支える会」

「抱樸館」の事業を支援し支えることを目的に、2010年4月10日に設立した一般社団法人です。

会の目的 以下の事業・活動を目的としています。

- 生活困窮者支援事業
- 抱樸館に関する広報活動及び資金援助活動
- これらに附带又は関連する事業



抱樸館福岡(福岡市東区)

2010年5月に開所し、社会福祉法人グリーンコープとNPO法人抱樸が協働で運営しています。居室数は81室。そのうち12室は、福岡市から受託した一時生活支援事業のシェルターとして、緊急に住まいが必要な方が利用されています。



抱樸とは

「抱樸(ほうぼく)。聞き慣れない言葉かも知れませんが。「樸」は原木、あるいは荒木のことです。山から伐り出されたばかりの原木を、表面がざらついても、とげとげしくても、そのまま抱きとめる。私たちが行う生活困窮者支援の基本姿勢がここにありま。抱樸館では、入居してこられる方をまずそのまま受け入れます。だからこそ、これからどう生きていくかについて真剣に向きあえる、そんな場所が必要なのです。

抱樸館福岡では新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底して行っています。



人と人の絆や地域の皆さんとのつながりを大切にしています。

入居者全員の安否確認も兼ねて、毎日の検温を実施し、今年3月から入館制限をしています。

入居者の楽しみである食事時も、食堂の椅子を減らし、対面で食事をしないようにしています。また、会話もご遠慮いただいています。



抱樸館の卒業生を中心とした「えにしの会」。現在は、コロナ禍のため活動を中止しています。

自立に向けた就労訓練

長い間、就労から遠ざかっていた人にとってまず必要なのは、生活のリズムを整えて健康を維持すること。仲間と一緒に働く喜びや、自分の仕事が誰かの役に立っていると感じることも大切なことのひとつです。抱樸館福岡の入居者で、就労が可能な方にはファイバーリサイクルセンターの就労訓練に参加することを勧めています。ファイバーリサイクルセンターでは様々な種類の就労訓練を実施しています。2010年10月から2020年8月末までに165人が参加し、半数以上の方の就労につながっています。

主な就労訓練の内容



- ・グリーンコープファイバーリサイクルセンターでの衣類の仕分け・梱包作業
- ・青果リパックセンターでの青果やきびさとうの袋詰めサポート業務
- ・社会福祉法人グリーンコープが行っている珈琲焙煎事業のサポート業務
- ・抱樸館内を清掃しながらのハウスクリーニング実習など

入居・退居の状況

総入居者数 **1,240人** (2010年5月の開所時から2020年8月末まで)

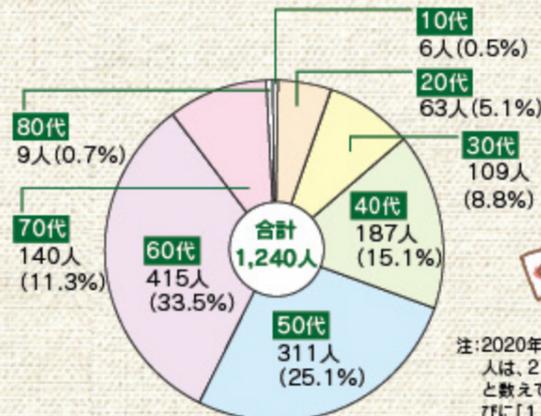
退居後の生活場所

〈2010年5月の開所時から2020年8月末まで〉

行き先	人数	割合
民間アパート	905人	70.0%
グループホームなどの施設	101人	7.8%
入院	49人	3.8%
家(就職先の家)	19人	1.5%
帰郷	22人	1.7%
逝去(抱樸館入居中)	8人	0.6%
自主退居・不明・その他	188人	14.6%
合計	1,292人	100.0%

年齢構成

- ・50代以上が全体の70%以上を占めています。
- ・40代以下の入居者も年々増えています。



注: 2020年8月末までの総入居者1,240人は、2度・3度入居した人も「1人」と数えています。退居者は、退居のたびに「1人」と数えています。

抱樸館から自立した方の退居時アンケートより(抜粋)

最初は周りになじめず、不安な中で生活していました。徐々に周りの人たちとも仲良くなって、楽しい時間も過ごせました。これから自分の新しい道を見つけて、自分が幸せだと思える人生にしていきたいと思っています。そして今後も継続的にボランティア活動にも参加し、自分が助けてもらった以上の人助けをしたいと思っています。 20代 男性 Bさん

抱樸館はいつでも心のよりどころ

大変な時期に受け入れていただき、本当に感謝しています。コロナ禍の中でも安心して生活を送ることができました。また、仕事とアパートを見つけることができたのも、抱樸館と職員の皆さんのおかげだと思っています。本当にありがとうございました。 40代 男性 Aさん

40代 男性 Aさん

抱樸館福岡スタッフのコメント

入居中から館内外のボランティアに積極的に参加されていました。入居者の皆さんと年齢関係なく交流をされ、他入居者からの信頼も厚かったです。自分の考えをしっかりと持たれていましたので、今後のご活躍を応援し見守っていききたいと思います。

抱樸館福岡スタッフのコメント

入居後は規律を守り、ボランティアにも積極的に参加されました。一日も早く自立したいと就労先を見つけ、3交代の大変な仕事を頑張っておられました。今後は健康で充実した生活を送っていただききたいと思います。

抱樸館北九州(北九州市八幡東区)



2013年9月に開所し、NPO法人抱樸が運営しています。30の居室があり、終の住処(ついのすみか)として、あるいは自立に向けた入居(自立支援住宅)として、入居者の状況に応じて対応しています。抱樸館北九州の施設内には、どなたでも利用できるレストランや、NPO法人抱樸が別事業として運営するデイサービスセンターも併設しています。

入居・退居のようす

開所から7年を迎えました。これまで91の方が利用され、現在は30室中29の方が入居しています。(2020年8月末現在) 終の住処としては、8人の方の最期を看取りました。自立支援住宅は、36期の方が入居されており、この11月には卒業予定です。



地域に開かれたレストラン

別名「でてこい食堂」。抱樸館の関係者だけでなく、一般の方々もご利用いただけます。地域で暮らす高齢者や一人暮らしの方々にも足を運んでいただいているレストランです。おいしいランチメニューも人気です。

抱樸館熊本(熊本市中央区)



年2回開催する、卒業生や路上生活をしている方々との交流会のようす

2013年6月に抱樸館熊本準備室を立ち上げ、熊本県と熊本市から緊急に保護が必要な方のシェルター事業を受託し、生活困窮者支援を行っています。

2018年12月には無料低額宿泊所を開所し、名称も「抱樸館熊本」と改めました。

2019年度、熊本県からはシェルターとシェルター退所者のアフターフォローを受託し、熊本市からはシェルターを受託しています。

入居・退居のようす

開所から7年が経過し、これまで300人を超える方が利用されました。現在は19室中、15人の方が入居されています。(2020年8月末現在)

各抱樸館の連絡先

抱樸館福岡
電話 092-624-7771
FAX 092-624-7772
〒813-0034
福岡市東区多の津5丁目5-8

抱樸館北九州
電話 093-883-7708
FAX 093-883-7705
〒805-0027
北九州市八幡東区東鉄町7-11

抱樸館熊本
電話 096-245-7521
FAX 096-245-7522
〒860-0811
熊本市中央区本荘



Q 賛助会員になるには
どうしたらいいの？

A グリーンコープの組合員の方は、毎週の共同購入申込書でお申し込みください。いつでも、何口でもお申し込みいただけます。賛助会員になっていただいた組合員の方には2ヵ月に1回、カタログと一緒に「抱樸館を支える会」の会報をお届けし、抱樸館でのようすなどをお知らせします。

Q 寄付金は何に使われているのですか？

A 抱樸館は入居者から住居費や食事代をいただいておりますが、それだけでは施設の運営はできません。「抱樸館を支える会」の皆さんの会費が抱樸館の運営を支えています。

Q 賛助会員(寄付金)は
毎年自動更新ですか？

A 以下の「抱樸館を支える会」賛助会員のお申し込み方法にも記載しておりますが、
一度お申し込みいただくと、翌年に自動更新となります。二重のお申し込みにご注意ください。

支える会は、グリーンコープ生協や社会福祉法人グリーンコープ、NPO法人抱樸が正会員で、多くの皆さんに賛助会員になっていただいております。2020年8月末の賛助会員は、グリーンコープの共同購入組合員が9,863人、店舗組合員と一般の方が181人、グリーンコープの取引先などが103社です。2019年度は、抱樸館(福岡、北九州、熊本)と困窮する子どもたちへの支援に、寄付金として2,500万円を提供し、広報活動などに約260万円を使いました。また、救援対策基金(200万円)を設置し、抱樸館から自立して地域で暮らす方たちが万一トラブルに巻き込まれるようなことがあった場合、その方をサポートするための弁護士費用などに充てるために、特別会計として管理しています。

「抱樸館を支える会」賛助会員のお申し込み方法

グリーンコープの共同購入組合員の方 賛助会員のお申し込みには、2つの方法があります。

1 毎月250円の賛助会費のお申し込み方法(年間3000円)

毎月の商品代金と一緒に引き落としとなります。
共同購入申込書の「うら」面の **1300** でお申し込みください。

1300 「抱樸館を支える会」 年会費3000円(月250円×12回)

2 1口1000円の賛助会費のお申し込み方法

何口でもお申し込みいただけます。
お申し込みいただいた月の商品代金と一緒に引き落としとなります。
共同購入申込書の「うら」面の **1299** でお申し込みください。

1299 「抱樸館を支える会」 年会費1口1000円(一括払い)

賛助会員は、一度お申し込みいただくと毎年更新されます。
(グリーンコープの共同購入の場合)
①の賛助会員は毎月継続して250円請求させていただきます。
②の賛助会員はお申し込みいただいた月に毎年一括して請求させていただきます。

GCweb(インターネット注文)の利用登録をされている方は、ホームページやグリーンコープアプリからもお申し込みいただけます。

抱樸館福岡の情報やお申し込み方法などをホームページで案内しています。

抱樸館 福岡

検索



**一般の方、
グリーンコープの店舗組合員の方**

1口1000円の賛助会費を何口でもお申し込みいただけます。
郵便振替でお申し込みください。

郵便振替

01710-0-123003

(一般社団法人 抱樸館を支える会)

■お問い合わせ■

「抱樸館を支える会」事務局

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前1丁目5番1号 博多大博通ビルディング 10階 Tel 092-482-1964